



使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。



アリナミン[®]A

ビタミンB₁製剤

第3類医薬品

特徴

- アリナミンAは、「タケダ」が開発したビタミンB₁誘導体フルスルチアミンを配合し、毎日の生活の中で感じる、カラダが「だるい」「重い」といった疲れにすぐれた効果をあらわします。
- 補酵素(コエンザイムA)となってエネルギーの産生に重要な働きをするパントテン酸カルシウムとフルスルチアミン、ビタミンB₂、ビタミンB₆を配合し、三大栄養素(脂質、タンパク質、糖質)を効率よくエネルギーに変える助けをするので、疲れたカラダにすぐれた効果をあらわします。
- 服用しやすい黄色の糖衣錠です。



⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、口内炎

2. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
軟便、下痢
3. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効能

1. 次の場合のビタミンB₁の補給
肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時
2. 次の諸症状の緩和
筋肉痛・関節痛(腰痛、肩こり、五十肩など)、神経痛、手足のしびれ、便秘、眼精疲労
3. 脚気

「ただし、上記2および3の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師または薬剤師に相談すること。」

(裏面へ続く)

用法・用量

次の量を、食後すぐに水またはお湯で、かまずに服用すること。

年齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	1～3錠	1回
11歳～14歳	1～2錠	
7歳～10歳	1錠	
7歳未満	服用しないこと	



<用法・用量に関連する注意>

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2)用法・用量を厳守すること。

成分 3錠(15歳以上の1日最大服用量)中

成分	含量
フルスルチアミン(ビタミンB ₁ 誘導体)として (フルスルチアミン塩酸塩)	100mg 109.16mg)
ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB ₆)	20mg
シアノコバラミン(ビタミンB ₁₂)	60μg
リボフラビン(ビタミンB ₂)	12mg
パントテン酸カルシウム	15mg

添加物：乳酸カルシウム水和物、部分アルファー化デンプン、ヒプロメロース、セルロース、乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Mg、トウモロコシデンプン、エリスリトール、酸化チタン、アラビアゴム、炭酸Ca、タルク、白糖

<成分に関連する注意>

本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、リボフラビンによるものなので心配ありません。

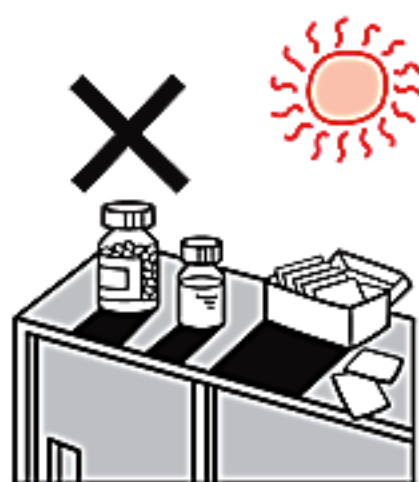
保管および取扱い上の注意

ビン入り品、分包品について

- (1)小児の手の届かない所に保管すること。
- (2)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。

ビン入り品について

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓し、箱に入れて保管すること。
- (2)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- (3)ビンの中の詰め物は、フタをあけた後はすてること(詰め物を再びビンに入れると湿気を含み品質が変わるものになる。詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するためのものである)。
- (4)服用のつどビンのフタをしっかりとしめること(吸湿し品質が変わる)。
- (5)箱とビンの「開封年月日」記入欄に、ビンを開封した日付を記入すること。
- (6)一度開封した後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。



分包品について

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)1包を分割して服用した残りは、袋の口を折り返して保管し、4日以内に服用すること。

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー「お客様相談室」
〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号 ☎0120-567087
受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

- タケダ健康サイト(パソコン用) <http://takeda-kenko.jp>
- タケダ健康モバイルサイト(携帯電話用) <http://tkdm.jp>

製造販売元  **武田薬品工業株式会社**

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号